



松子さんと松太郎さんの『ユニット暮らし』

第一話 『東町1丁目ユニット』内見 の巻

こんにちは。この秋、S荘『東町1丁目8番地と9番地』に引っ越してきます高萩松太郎と松子です。それまで私たち夫婦は、市内の自宅にて、デイサービスと訪問介護を利用しながら生活しておりましたが、昨年の冬に妻の松子がベッドから転倒し、右大腿部頸部骨折の後遺症で要介護4、私自身も（松太郎）も、パーキンソン病の症状が徐々に進行してきて要介護3の介護認定を受けております。

そこで、プライバシーが確保される個室があり、常時の介護をお願いできる松籟荘のユニット型に入居を決めました。（※ユニット名を○町○丁目、部屋名を○番地としています）

入居1ヶ月前、S荘の生活相談員Kさんが訪ねて来られ、入居前に準備することや持参する物等、重要事項の説明を受けました。その時驚いたことは、これまで使っていた馴染の家具や物品をお部屋に持ち込んでいいとおっしゃるのです。思わず「想像がつきません。」とお伝えしたところ、持参されたiPadの中の『部屋の設え画像』を何枚か見せてくださいました。

《 部屋の設えの画像 例 》



～ 個室の大きさは 15 m² ～
老人ホームのイメージがガラッと変わりました

入居1週間前、娘夫婦の車で施設を訪問し、ケアマネジャーNさんとユニットリーダーSさんと面談しました。この際、「朝は何時に起きますか？」「起きた後に何をされますか？」「朝食はどこで何時に食べますか？」等々、一日の時間軸で普段の生活の仕方や好みを尋ねられたので、ひととおり答えましたが、この時は「これから施設に入居するのに自宅での暮らしぶりを、なぜ、こんなに細かく聞かれるのだろう？」と半信半疑でした。（その答えは後々分かることになるのですが…）

続いて、施設の中を案内されたのですが、なんとユニットの入口に玄関があるのです。驚いて「ホームの中に玄関があるのですか？」と尋ねるとユニットリーダーが、「ユニットは家なので、家ごと（ユニットごと）に玄関があります。」との回答でした。

《それぞれのユニット玄関》



～ ユニットは6つ、玄関も6ヶ所 ～

続いて東1丁目ユニットの中にお邪魔すると、車いす使用トイレが2ヶ所、車いす使用洗面台が2ヶ所、談話コーナーが入り口付近に1ヶ所、その奥に職員さんの記録スペースと倉庫があり、ベランダに面したリビング・ダイニングとキッチンが配置されていました。

ユニット内部の設えです。



ユニットの中の通路

トイレ

洗面コーナー



談話コーナー

対面キッチン

ダイニング



～ リビングはくつろぎスペース ～

そこでは、ユニットの入居者と思われる車いすの高齢者がテレビを観たり、雑誌を読んでいたり、リビングを取り囲むように配置された個室の中にいらしたり、それぞれ思い思いの過ごし方をされていました。



そして、同じユニットにお住まいの7名の入居者を紹介されました。

1番地 テルさん



2番地 花さん



3番地 春さん



4番地 町子さん



5番地 昭さん



6番地 茂男さん



7番地 道子さん



 イラスト画像はAI (Copilot) 作です

第二話は
『東町1丁目ユニット』
ご入居の巻 です ❤

